

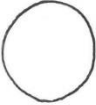



セルフチェックシート


(卒業生の自己分析を基に職員が作成しました。)

状況

方針の要約

	<p>対称面を切り出して、そこを座標に乗せる</p> <p>(1) 1つの面とのキリは可く出るの2... もう1つを求める. 平面直交ベクトル利用2目標をベクトルを伸ばして計算</p> <p>(2) 2つの点のキリを比べるコレ</p> <p>思いにより計算がハッピー. もう少し幾何で圧縮できるはず</p>
---	---

	<p>より具体的に考えれば、白から始まる順列と赤から始まる順列の数を比較して直接得られる。Pnを出さずに構造分解の途中で白スタートと赤スタートを別関数でおくしかない。あるいは $a_n + b_n = P_n$ 及び $a_n + b_{n-1} = P_{n-1}$ みたいな数列というわけでもない b_n の項間関係はキリ計算がある。問題解決も P_n 求値がなるとから根本的な方針が違ってくる。</p>
---	--

	<p>1. 2018年問題の解法を忘れたら $\theta = 45^\circ$ のとき</p> <p>$P(x, y)$ 通った。</p> <p>$Q(x, y), M(\cos\theta, \sin\theta)$</p> <p>$N(\cos\theta, \sin\theta)$</p> <p>$Q$ は OP 上, Q は MN の中点</p>	<p>$\therefore Y = \frac{2}{\sqrt{2}} X, X = \frac{\cos\theta + \cos\theta}{2}, Y = \frac{\sin\theta + \sin\theta}{2}$</p> <p>--- (1) --- (2)</p> <p>θ は OP 上 $\theta = 45^\circ$ 点 Q は MN の中点</p> <p>$\rightarrow \triangle OMP \sim \triangle OQM$ の相似比 (1), (2) より</p> <p>$\rightarrow X = \frac{2}{\sqrt{2} + 1}, Y = \frac{2}{\sqrt{2} + 1}$</p> <p>--- (3) --- (4)</p> <p>$Y = 2 \cos\theta \cos\theta = 2 \cos^2\theta$</p>
---	--	--